

けみかわの宮

第 118 号

平成31年 1月 1日発行

下總之國
津波三社 檜見川神社事務所

〒262-0023
千葉市花見川区検見川町1-1
TEL 043(273)0001代
FAX 043(273)0002

祥 輯



年頭の辞

宮司 宮間 尊士

平成三十一年己亥年（皇紀二六七九年）の年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げますとともに、御皇室の弥栄を寿ぎ奉り、氏子・崇敬者皆様方の平安とご多幸をお祈り申し上げます。昨年も当神社では例祭をはじめ諸祭典を皆様方のお力添えで無事斎行できましたこと厚く御礼申し上げます。

今年は四月三十日に現天皇陛下がご退位され翌五月一日に皇太子様が新天皇に即位されます。年号も昭和・平成につづく新年号となります。新しい時代のはじまりです。昭和は激動の時代、平成は阪神淡路及び東日本大震災という甚大な災害にみまわれたものの、それ以外は戦争もなく比較的安定した時代でした。新年号の下の新しい時代、どのような時代が待ち受けているのでしょうか。

最近の国内外の情勢を鑑みますに、これから将来は一段と変化の激しい時代となりそうです。米中大国の貿易対立、英のEU離脱問題、不安定な中東、無気味な北朝鮮等、何か大きな混乱の前振れを感じさせます。国内も少子高齢化による人口減に伴う労働力不足、膨大化一方の社会保障費及び国債の残高、そして消費税増税、加えて自然災害発生の虞れ、国民の将来不安はつきません。しかし情報化と多様化が進展するこの時代、全てをまるくおさめる解決策はありません。でも拱手傍観もできません。多少の片寄りは覚悟の上、スピードある解決策がいろいろな面で求められている時代といえます。当神社では新天皇即位奉祝記念事業として境内整備事業計画を検討中であります。大明神の威を増す神社を目指し、境内の拡充、神社周辺整備を進めて参る所存です。氏子崇拜者の皆様方に引き続きご協力を賜りたくお願い申し上げます。末筆ながら、本年も職員一同神明奉仕に誠心誠意努めまいります。今後も皆様方の篤き崇敬の年を検見川大明神にお寄せ下さいますようお願い致します。

新嘗祭はこの日、皇居において斎行され、宮中の儀にあわせて全国の神社でも執り行われました。宮中では神嘉殿において天皇自ら新穀を神様へお供えになります。

当神社においては、神前に新米はじめたくさんのご奉納品が供えられ、責任役員はじめ多くの方々が参列し、祭典が執り行われました。

新嘗祭は、その年の収穫を神様に感謝する稻作儀礼で、その年穫れたお初穂をまず神前にお供えして神恩に感謝し、さらに今後の御加護をお祈りするおまつりです。田植えの季節を前に秋の豊作を祈る二月の祈年祭と対となる祭典です。



宮司祝詞奏上



豊栄の舞

祭典では、宮司による祝詞奏上に続き、巫女による豊栄舞が奉奏され、厳肅な雰囲気の中で滞りなく斎行されました。

当神社においては、神前に新米はじめたくさんのご奉納品が供えられ、責任役員はじめ多くの方々が参列し、祭典が執り行われました。

当神社においては、神前に新米はじめたくさんのご奉納品が供えられ、責任役員はじめ多くの方々が参列し、祭典が執り行われました。

祭典のあと、客殿において参列者皆様による直会が開かれました。直会のはじめに、感謝状贈呈式が行われ、宮司よりお一 方ずつ感謝状と記念品が贈呈されました。今回感謝状をお受けになられた方々は、左記の通りです。

また、当日は新嘗祭に併わせて物品奉納奉告祭も執り行われます。この一年間に当神社に貴重なる御奉納・御奉賛を賜りました方々五名様及び、当神社のためにご尽力下さいました責任役員、正五九祓領布奉仕者の方々併せて五名様、計五名の方々の御芳名が宮司祝詞の中で奏上されました。

秋の大祭新嘗祭 斎行

物品奉納奉告祭

功労者表彰

感謝状贈呈者（順不同）	
佐藤 美穂 (NPO法人 千葉リフォーム 工事研究会理事長)	清宮 基男 兼務礼甲大神元責任役員
新井 秀男 検見川民俗写真奉納	塙田 博行 仮殿設営
境内整備奉仕の例祭運営補佐	酒井 忠夫 仮殿設営



奈良時代の『続日本紀』には、旱魃や大雨に際して神の乗り物としての神馬を奉納していたことが記されています。しかし、馬は高価でなかなか献納できず、次第に木や紙・土で作った馬の像で代替するようになり、平安時代からは板に描いた馬の絵で代えられるようになりました。時代を経て江戸時代になると家内安全や商売繁昌といった実利的な願いをかける風習が広まり、今日のように山形五角形の絵馬が奉納されるようになりました。

当神社の絵馬掛にも受験生の合格祈願等各種の願い事をこめた多くの絵馬が奉納されています。

八方除ご祈願

当神社は、八方除總鎮護の神社として房総をはじめ広く全国の方々から信仰されています。

☆八方除

八方除とは、地相・家相・方位・日柄・歳まわり・風水等に基づく森羅万象全ての災禍・災厄を取り除くことであり、人々を清々しい気の流れの中に立還らせ運勢をよくする御祈願です。

また、身体健全・家内安全・安産成就等様々なお願い事が成就しますようにとの御祈願も八方除と併せて行われます。

☆方除・方災除

八方除につけ加える特定した御祈願として方除と方災除があります。

方除＝物事を行うにあたり、事前に災がないようにと御祈願することです（例えば、転居先で災がありませんように等）

方災除＝過去の災、特に方位に於ける災禍・災厄を取り除く御祈願です（例えば、過去に

転居したが、そのとき方位をおかしてしまった等）

☆御祈願

御祈願はお一人ずつの御祈願として行われます。

受付で御祈願を申し込まれた方は、拝殿に昇殿し御祈願を受けます。修祓のあと、神職により、お一人ごとに住所・お名前・御祈願内容が祝詞の中で奏上されます。祝詞奏上のあと、御祈願者は神前に進み、玉串をささげ、御神札が授与されます。

☆年に三回四ヶ月に一度

八方除の御祈願は、年に三回四ヶ月に一度御祈願されることにより、過去からの災いを取り除き、今後の運勢を吉兆の方向へと導き守護されます。年に三四ヶ月に一度の意味は、人間の運勢には波があるので、それがあわせて御祈願されるとよいでしょうということです。

平成三十一年 檜見川神社年中行事

一月	一日	八方除祭	七月	十六日	海上安全祈願祭
	全	元旦祈願祭		二十五日	兼務社愛宕神社例祭
	三日	元始祭		三十一日	例祭前日祭
	全	歳旦祭		十五日	未社三峯神社例祭
	三日	初午祭		三日	神幸祭
二月	十四日	御備社祭	九月	十五日	末社鷺神社例祭
	三日	節分祭		九日	秋季講社祭
	七日	どんど祭・御歩射祭		十七日	長寿祈願祭
	十一日	紀元祭		十九日	末社鷺神社例祭前日祭
	十七日	祈年祭		八日	稻荷神社例祭前日祭
三月	二十五日	末社寄宮社例祭		九日	稻荷神社例祭
	三日	桃花祭		十七日	神嘗奉祝祭
	十四日	熊野神社例祭前日祭		十四日	稻荷神社例祭前日祭
	十五日	熊野神社例祭		十五日	稻荷神社例祭
四月	十九日	末社古峯神社例祭		二十日	兼務社甲大神例祭
	九日	末社三峯神社例祭		三日	明治祭並
	十一月	学業成就祈願祭			
五月	二十九日	昭和祭			
	五月	端午祭			
	四日	春季講社祭			
	全	春季講社祭			
六月	十九日	末社金刀比羅神社例祭			
	二十九日	末社浅間神社例祭			
	吉日	植樹祭			
	九日	末社市神之社例祭			
	三十日	夏越大祓式（茅の輪ぐり）並大祓祈願祭			
	毎月二十九日	月次祭			
	毎月二十九日	交通安全祈願祭			

人生儀礼のいろいろ

古来より日本人は、この世に生を受けて成長し、社会生活を営む上で、その節々に儀礼をもうけています。

人生には様々な儀礼・お祝い事があります。その時にはまず検見川神社を始め近くの氏神様に参拝し、限りない御神恩に感謝いたしましょう。

安産成就：妊娠五ヶ月目の特に戌の日を選び神社に参拝して安産を御祈願し、腹帯をします。

命名奉告祭…子供に付けた名前を神様に奉告いたします。尚、検見川神社の御神慮でお名前を選名し、お子様の成育の無事を御祈願しております。

初宮詣：生後男子三十二日、女子三十三日（地方によつて異なる）にになると初めて神社にお参りしてお子様の成育の無事を御祈願いたします。この日より氏子となり社会的に生まれた事が認められます。

初節句詣：生後初めての節句を無事迎えることを喜び、そして健やかなお子様の成長を御祈願いたします。尚、検見川神社では子供達の健やかなる成長を祈念して三月三

日には桃花祭（桃の節句）を、五月五日には端午祭（端午の節句）を斎行しております。

厄除
厄除の厄には大厄から小厄まであり、特に大厄の本厄・前厄・後厄の歳には、不測の災いが起ります。日常の中で厄に当る歳頃は、人の心の隙間をねらい災いを起す厄神の力が強くなる時と重なり、心身の苦労や諸難が多く、病気になると重病、長病になりやすい歳として古来より忌み嫌われ、心静かに身を慎むべきとされていきます。厄除は、厄神の力を抑制します。厄難・災禍がないように御祈念するものです。厄除祈願を受け、心身共に清らかにし、明るく災いのない生活をお送りください。

干支年について

今年平成三十一年は、干支年でいうと己亥年にあたります。己亥年の干支は、土・十二

干支年の呼び方は「十干・十二支」の組み合せで表わされます。

干支年は甲子、乙丑、癸酉

六十番目の癸亥で一巡します

の組み合せがあります。

となります。このことから人の年令でいうと、数え年の六十二

歳になると還暦を祝する風習が生まれました。

1月	1日(火)	13日(日)	25日(金)
2月	6日(水)	18日(月)	
3月	2日(土)	14日(木)	26日(火)
4月	7日(日)	19日(金)	
5月	1日(水)	13日(月)	25日(土)
6月	6日(木)	18日(火)	30日(日)
7月	12日(金)	24日(水)	
8月	5日(月)	17日(土)	29日(木)
9月	10日(火)	22日(日)	
10月	4日(金)	16日(水)	28日(月)
11月	9日(土)	21日(木)	
12月	3日(火)	15日(日)	27日(金)

＜安産祈願＞

初穗料 参千田以上思召

<腹巻（神社朱印入り）>

初穂料 武千田



四緑木星	五黄土星	六白金星	七赤金星	九星
数え 95歳 1924年 大正13年生	数え 96歳 1923年 大正12年生	数え 97歳 1922年 大正11年生	数え 98歳 1921年 大正10年生	平成三十一年各人數え年・生年・干支・九星卓見表
数え 86歳 1933年 昭和8年生	数え 87歳 1932年 昭和7年生	数え 88歳 1931年 昭和6年生	数え 89歳 1930年 昭和5年生	
数え 77歳 1942年 昭和17年生	数え 78歳 1941年 昭和16年生	数え 79歳 1940年 昭和15年生	数え 80歳 1939年 昭和14年生	
数え 68歳 1951年 昭和26年生	数え 69歳 1950年 昭和25年生	数え 70歳 1949年 昭和24年生	数え 71歳 1948年 昭和23年生	
数え 59歳 1960年 昭和35年生	数え 60歳 1959年 昭和34年生	数え 61歳 1958年 昭和33年生	数え 62歳 1957年 昭和32年生	
数え 50歳 1969年 昭和44年生	数え 51歳 1968年 昭和43年生	数え 52歳 1967年 昭和42年生	数え 53歳 1966年 昭和41年生	
数え 41歳 1978年 昭和53年生	数え 42歳 1977年 昭和52年生	数え 43歳 1976年 昭和51年生	数え 44歳 1975年 昭和50年生	
数え 32歳 1987年 昭和62年生	数え 33歳 1986年 昭和61年生	数え 34歳 1985年 昭和60年生	数え 35歳 1984年 昭和59年生	
数え 23歳 1996年 平成8年生	数え 24歳 1995年 平成7年生	数え 25歳 1994年 平成6年生	数え 26歳 1993年 平成5年生	
数え 14歳 2005年 平成17年生	数え 15歳 2004年 平成16年生	数え 16歳 2003年 平成15年生	数え 17歳 2002年 平成14年生	
数え 5歳 2014年 平成26年生	数え 6歳 2013年 平成25年生	数え 7歳 2012年 平成24年生	数え 8歳 2011年 平成23年生	
前後に左右をしつかり確かめて。余裕の二文字を忘れずに。	吉事重なり、かなり期待のもてる月になります。経済的に余裕が出来ても、無駄遣いしないように、しっかりと引き締めて。宴席・酒席が多くなるから、うかれて粗相のない様に。	心うきうきして、右を見たり、左を見たりと落ち着かなくなりそうなので引き締めて。小事と言えども油断すると意外な方面に発展する恐れがあり。酒席ではお酒に飲まれないこと。	良好な運気とはいえて一歩間違えると、表面のみで内容の伴わない恐れがあるから調子に乗らず冷静な歩みを心掛けて下さい。見栄を張らず真心こめて堅実に努めれば発展の道は開く。	一月の運勢
小さな努力の積み重ねが良い結果となつて表れるでしょう。かなり吉事多くなりますが、油断せず更なる努力を続けて。気が大きくなつて、見惚れると流れが変わるから気をつけて。	見晴らしの良い運気ですが、何かについて周りの事が気にかかる傾向が強いから注意を。他の事に手を出したい気持ちはわかりますが、今は脇目も振らず、本業をしっかりと守つて。	明るく勢いのある運気に恵まれ、事業等も予想以上に成果をあげますが、うかれないうよう。勢いに乗り過ぎると、つまずくから、何事も進むばかりではなく、退くことも考えて。	歯車がずれたり、一枚欠いたりする運気となり、物事の動きが定まらず、掴みづらくなりそうなので行動する時は注意の上にも注意を重ねて事の大小にかかわらず、最初から慎重に。	二月の運勢

一月・二月の運勢

[注意]

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日前に2歳、誕生日以後には1歳を差し引けば得られる。
アラビア数字は、ことしの誕生日以後の満年齢である。
子・辰・申の年は閏年となる。



八白土星	九紫火星	一白水星	二黒土星	三碧木星
数え 99歳 1920年 大正 9年生	数え 91歳 1928年 昭和 3年生	数え 92歳 1927年 昭和 2年生	数え 93歳 1926年 昭和元年生	数え 94歳 1925年 大正 14年生
数え 90歳 1929年 昭和 4年生	数え 82歳 1937年 昭和12年生	数え 83歳 1936年 昭和11年生	数え 84歳 1935年 昭和10年生	数え 85歳 1934年 昭和 9年生
数え 81歳 1938年 昭和13年生	数え 73歳 1946年 昭和21年生	数え 74歳 1945年 昭和20年生	数え 75歳 1944年 昭和19年生	数え 76歳 1943年 昭和18年生
数え 72歳 1947年 昭和22年生	数え 64歳 1955年 昭和30年生	数え 65歳 1954年 昭和29年生	数え 66歳 1953年 昭和28年生	数え 67歳 1952年 昭和27年生
数え 63歳 1956年 昭和31年生	数え 55歳 1964年 昭和39年生	数え 56歳 1963年 昭和38年生	数え 57歳 1962年 昭和37年生	数え 58歳 1961年 昭和36年生
数え 54歳 1965年 昭和40年生	数え 46歳 1973年 昭和48年生	数え 47歳 1972年 昭和47年生	数え 48歳 1971年 昭和46年生	数え 49歳 1970年 昭和45年生
数え 45歳 1974年 昭和49年生	数え 37歳 1982年 昭和57年生	数え 38歳 1981年 昭和56年生	数え 39歳 1980年 昭和55年生	数え 40歳 1979年 昭和54年生
数え 36歳 1983年 昭和58年生	数え 28歳 1991年 平成 3年生	数え 29歳 1990年 平成 2年生	数え 30歳 1989年 平成元年生	数え 31歳 1988年 昭和63年生
数え 27歳 1992年 平成 4年生	数え 19歳 2000年 平成12年生	数え 20歳 1999年 平成11年生	数え 21歳 1998年 平成10年生	数え 22歳 1997年 平成9年生
数え 18歳 2001年 平成13年生	数え 10歳 2009年 平成21年生	数え 11歳 2008年 平成20年生	数え 12歳 2007年 平成19年生	数え 13歳 2006年 平成18年生
数え 9歳 2010年 平成22年生	数え 1歳 2018年 平成30年生	数え 2歳 2017年 平成29年生	数え 3歳 2016年 平成28年生	数え 4歳 2015年 平成27年生
自力が足りず弱い運気なので、なにか問題を起こすと、良くない方向に進む暗示があるから、軽はずみな行動はしないように。今は前に進むことよりも、足元の強化をしつかりと。	芽が出たばかりの運気で、まだまだ実力が伴わないから、何事も多くを求めず、ほどほどに。自力では足らぬことを早く知つて、他の力を借りる様に。見惚れは凶。謙虚・素直に。	なんでも出来るから大丈夫と見惚れて、あまり手を抜げないこと。今は積極的に進むよりは、時間をかけても一歩一歩確かめながら歩む様に心掛けて。猛進はケガの元。控え目に。	想像以上に良い運気に恵まれるでしょう。中中片づかなかった難問も解決方向に動き出して、ほっと一安心しますが、油断しない様に。まだまだ本格的ではないので詰めをしつかりと。	新しいことに興味がわき、色々と考えたり手を出したりしますが、あれもこれもと動き回ると、積んできた良い物を失う恐れがあるから注意を。今は本業に専念する様に努めて。
まわりの人から認められる一歩手前の運気となりそうです。今一息の辛抱と努力を重ねて。少しでも前へ前へと行きたい気持ちはわかりますが、そこは成否のカギがあるので注意を。	物事が順調に流れ、気分爽快に。期待していない事までも楽楽と進んでしまうため、ウキウキしますが引き締めて。調子に乗つてうかれで気が大きくなると、判断を誤る恐れあり。	物事がいろいろと入ってきて実利の増す運気となりそうです。事業も大いに繁昌し気持ちよくなるでしょう。但し、あまり好ましくない物も入つてくるから、中身のチェックを忘れずに。	周囲からかなり期待されるので、大いに励んで下さい。ただし、調子に乗つてうかれて気が大きくなると足元をすくわれる恐れがあるから、きちんと計画を立てそれに向つて前進を。	勢いのある運気に恵まれて元気溌溂に。諸事発展・向上し、期待がもてそうです。ただし、自説に固執する傾向があるから、謙虚・控え目な気持ちを忘れずに。強引は、吉意を減らす。

どんと祭・節分祭のご案内

一月、二月は多くの祭典行事があります。

元旦午前零時の八方除祭、元旦には恒例のどんと祭が、そして二月三日(日)には節分祭が斎行されます。

◆どんと祭

一月十四日(月)

午後五時

どんと祭は古札や正月飾りを燃やす行事で、さいとやき・左義長祭ともいわれ、昔から親しまれているお祭りです。

当日は、拝殿での祭典の後、午後五時より大前の仮設炉に火がつけられ、夜おそくまで燃えづけます。燃える火にあたると若返るとか、残りの灰を家の廻りにまくと虫除けになるとかいろいろな言い伝えがあります。

◆節分祭

二月三日(日)

午後五時

立春の前日行われるお祭りです。立春は旧正月節で、節分祭は悪鬼や厄を取り除いて新年を迎える追儺の行事です。当日は

祭典のあと境内大前にて福豆撒きが行われます。福豆の包の中にある番号くじの抽選により

いろいろな景品が授与されます。是非お誘い合わせの上、ご来社下さい。



節分祭の様子

節分祭—年男・年女募集—

恒例により節分祭奉仕者として左記の要領にて募集致しますので、祭典にご参列頂き福豆撒きにご奉仕下さいますようご案内申し上げます。☆なお、ご奉仕者の方々には祭典後の直会にもご出席頂きます。

一 日 時 二月三日(日) 午後五時
一 初穂料 お一人様金若干萬円
一 お申込み 一月三十一日(木)まで
一 受付窓口 神社社務所
□○四三 (二七三) ○〇〇一

(初詣授与品紹介)



御神矢
初穂料 1,500円



交通安全幸先矢
初穂料 500円



鏑矢
初穂料 2,000円



宝船
初穂料 (大) 7,000円
(中) 5,000円
(小) 3,000円



干支キティマスコット
(大) 初穂料 2,000円
(小) 初穂料 1,500円



扇
初穂料 2,000円
ミニ扇
初穂料 1,000円



八方除絵馬
初穂料 500円



陶製絵馬
初穂料 1,200円



青磁 初穂料 1,000円



土鈴
初穂料 500円